

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型児童発達支援施設 やさしい森のボロ 放課後等デイサービスロスカ		
○保護者評価実施期間	R8年1月15日 ~ R8年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	R8年1月26日 ~ R8年1月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月10日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・発達に必要な身体作りや感覚統合を促す活動を提供している。	・音楽療法士による音楽活動やSTによる言語トレーニングなど、専門的な支援を行っている。 ・トランポリンやフレキシサースイングによる体幹トレーニングやビジョントレーニング、認知機能トレーニングなどを積極的に行っている。	・昨年同様、専門職からのアドバイスをもとに職員間での話し合いをさらに深め、充実させ、支援計画への落とし込みへ展開していく。
2	・集団的な活動だけではなく、個別的な活動にも対応している。	・本人へ個別活動への声をかけ、活動を促している。また、自分がやりたいことを当日の支援員と相談し行っている。	・個別活動の内容を進展させて、やりたい活動を児童自らが発展できるように支援していく。
3	・子ども達の実態を把握するため、丁寧な聞き取りに努めている。また、客観的な実態把握のためのツールとして、保護者様から希望がある場合には検査を施設内で実施している。	・ST及び特別支援教育士スーパーバイザーによる検査と、検査結果や見立てを職員間で共有し、子どもの強みを生かせるように支援している。 ・低学年の子ども達の実態が適切に把握できるように、「WPPSI」や「LCSA」などの検査も導入し行っている。	・検査結果をどのように計画に結び付け、支援に落とし込むのかの検討を続けていく。また、職員自身で子ども達の見立てが可能となるように「LCSA」等の講習会を計画的に受講していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者間の交流や地域との交流の機会、ペアレントトレーニングの研修を行っていない。	・昨年同様、計画立案が不足している。 ・ペアレントトレーニングを行うにあたり、職員の確保ができていない。	・年間行事に予定を組み込み、保護者へお知らせをしていく。 ・ペアレントトレーニングの研修について、内部職員だけでなく、外部講師への依頼も再度検討していく。
2	・ホームページはあるものの、日常的な療育の様子を発信できていない。	・SNSの利用がなかなかできておらず、詳しい職員も少ない。	・SNSの利用も考えながら、通信等の作成も検討していく。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型児童発達支援施設 やさしい森のボロ  
放課後等デイサービスロスカ

公表日 令和 8年 3月 1日

利用児童数 11名 回収数 8名

	チェック項目	利用児童数				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	88%	12%				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	88%	12%				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	88%	12%				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	76%	12%		12%		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	76%	12%		12%		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	88%	12%				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	76%	12%		12%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	88%	12%				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	76%	12%		12%		
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	88%	12%				
	20 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	88%	12%				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	64%	24%		12%		
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%						

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	64%	24%		12%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	64%	24%		12%		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	88%	12%				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%					
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				他の地域にも分所が欲しいと思うほど満足しています。	分所については開所してまだ2年と短く、これから先の検討課題とさせていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型児童発達支援施設 やさしい森のポロ 放課後等デイサービスロスカ				公表日	令和 8 年 3 月 1 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		当日の行動予定について、時計とイラストをセットでホワイトボードに掲示することで視覚的にわかりやすくしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%				
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	68%	32%			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	84%	16%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	32%		意見を出す場はあるが、具体的な業務改善にまではつなげていない。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	68%	32%		第三者委員会は選定したが、昨年同様に第三者委員会の外部評価を得ることが難しい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		昨年同様、計画的に受講する機会を設けて、受講を促している。	昨年同様、法人内での研修の機会が少ない。	
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	88%	68%		支援プログラムは公表されているが、年に1度は点検・見直しをした方がより適切なプログラムとなる。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	32%	68%		昨年同様、十分に分析、計画されているとはいいがたい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	50%	50%		昨年同様、方向性の一致や共通理解が十分とは言えない。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	32%	68%		計画に沿った支援になっているか不安があるため、業務のフィードバックが必要である。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	68%	32%		当日の支援が計画したものと違うものになっている時がある。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	50%	50%		チームでの立案までには至っていない。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	84%	16%	季節に応じた装飾を個別対応対応で作成している。	活動プログラムについて全員で一緒に取り組めるものを増やし、色々と体験を増やしていきたい。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	50%	50%		状況に応じた支援は行われているが、適宜組み合わせているとはいいがたい。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	84%	16%			

適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	68%	32%		その日に振り返りができるとは限らず、不十分な時もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		関わった職員が日々の支援記録を同じシートに記載し、共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	68%	32%		昨年同様、適切に見直しているとはいえない。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	84%	16%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				昨年同様、就労へ移行する児童がいないため、支援内容の情報提供を行っていない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	84%	16%		昨年同様、職員個々でのつながりによるスーパーバイズはあるかもしれないが、事業所としての機会は今のところ無し。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	32%	68%		熊鷹動もあり、事業所の中だけで完結している。他の事業所や学童等も距離があり、交流や活動の機会を設けることが難しい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		保護者と連絡帳でのやり取りを行い、日々の様子や状況を報告している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	32%	68%		マンパワー不足もあり、家族等が参加できる研修の機会を設けることができていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	84%	16%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	32%	68%	保護者を招いての活動を始めて計画し、交流支援の一環とすることができた。	初めて保護者を招いて活動を行ったが、単発であり、つながり支援とまで行かない。また、きょうだい支援の機軸の提供はできていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	50%	50%	HPIにより、活動概要等の発信は出来ているが、日常的な活動の発信は出来ていない。	昨年同様、通信等の作成やSNS発信の得意な職員があまりいないため、日常的な活動の発信ができていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			

の保護者等へ 非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	68%	32%	講師を招いて一般参加型の講演会や利用者家族を招いての行事を行った。	事前準備が不足している。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%			